

ネパール地震関連
国際緊急共同研究・調査支援プログラム (J-RAPID)
終了報告書 概要

1. 研究課題名：「避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング」
2. 研究期間：2015年7月～2016年6月
3. 主な参加研究者名：
日本側チーム

	氏名	役職	所属	研究分担
研究代表者	神原 咲子	准教授	高知県立大学大学院	研究統括
共同研究者	野嶋 佐由美	教授	高知県立大学大学院	家族看護的分析
共同研究者	ンガッツ・ロジャー	講師	高知県立大学大学院	公衆衛生的レビュー
共同研究者	李 賢珠	講師	高知県立大学大学院	人類学的レビュー
共同研究者	廣野 祥子	D2	高知県立大学大学院	モニタリングツール開発
共同研究者	アルチャナ・シュレシュタ・ジョシ	客員研究員	岡山県立大学	調整・調査統括
共同研究者	宮川祥子	准教授	慶應義塾大学	技術開発
研究期間中の全参加研究者数			7名	

ネパール側チーム

	氏名	役職	所属	研究分担
研究代表者	Tara Pokhrel	President	Nursing Association of Nepal	ネパール側統括
共同研究者	Chandrakala Sharma	President	Nepal Nursing Council	調査地・モニター等調整
共同研究者	Apsara Pandey	Vice President	Nursing Association of Nepal	ツール開発・分析
研究期間中の全参加研究者数			3名	

4. 研究調査の目的

本研究の目的は避難移住による生活環境（文化・習慣・衛生観念を含む）の変化について多角的に把握し、“現地で迅速に対策を立てるためのクラウドソーシング技術”への移行を見据えた形で予防的モニタリングを行うことで、感染症を未然に防ぎ二次災害を減らすことである。

5. 研究調査の成果

5-1 研究調査の成果、被災地復興や今後の防災・減災への貢献

今回の取り組みは災害後の問題ではなく、むしろ日常的に必要なモニタリングであり、現地の看護師に依頼していたことから、継続した活動へつなげていくことをネパール側から切望された。本システムのようなITを活用した生活環境モニタリングは、災害時のみならず平時に有用であり、ヘルスサービスの行き届かない地域の公衆衛生が改善する可能性がある。今回実施した生活環境モニタリングを通じて、ネパール看護協会では災害時に看護師が地域で果たす役割についての検討が始まった。ICTツールは地域でモニタリングを行

う看護師と行政等の支援者をつなぎ、タイムリーなデータ収集とフィードバックを行うツールとして期待されている。今後さらに検証を進めることでこのことが明らかになれば、データ通信網を公衆衛生インフラと位置づけ、その導入を促進する施策の立案も可能になると考えられる。

これから、数カ所の地域に絞って平時のモニタリングを行い、災害時モニタリングも含め、地域課題の解決に貢献できる研究を可能な範囲で行っていく予定である。そのためにも、効果的なモニタリングの結果還元のために看護師・看護協会・ネパール保健省等のステークホルダーと連携したツール開発および導入の検討が望まれる。

5-2 国際連携の成果

本研究では、ネパール看護協会と協力することにより、被災した様々な地域の看護師らと共に研究を開始することができた。また、WHO カントリーオフィス、保健省、地域保健所とネパール看護協会との情報共有体制を作ったことにより、ネパール国内での公衆衛生のための連携体制が構築できた。本取り組みにより、看護基礎教育における公衆衛生・災害看護の重要性が認知され、そのカリキュラム導入へのきっかけとなっている。

6. 本研究調査に関連したワークショップ等の開催、主な口頭発表・論文発表・その他成果物（例：提言書、マニュアル、プログラム、特許）、受賞等

発表/ 論文/ 成果物 等	<ul style="list-style-type: none"> ・主催したワークショップ、セミナーなど：名称、開催日 ・口頭発表：発表者名、タイトル、会議名 ・論文：著者名、タイトル、掲載誌名、巻、号、ページ、発行年 ・その他成果物（例：提言書、マニュアル、プログラム、特許）、メディア
学会発表	IKanbara Sakiko, Joshi Archana, Pokharel Tara, Sharma Chandrakara, Pandey Apsara, Miyagawa Shoko, Ngatu Roger, Lee Hyonju, and Nojima Sayumi, Implementation of Hygiene monitoring at shelters on NepalQuake ; 1 year follow up for improvement, 6th International Disaster and Risk Conference, Global Risk Forum Davos 2016 2016年8月28日
抄録集	Development of Monitoring Application for Living Environment by Crowd Sourcing in the Post-Nepal Earthquake Shelters: A Consideration from Nursing S.Kanbara, T.Pokhrel, C.Sharma, A.Pandey, S.Miyagawa, N.Rogers , H.J.Lee, A.Joshi, M.R.Esture, and S.Nojima 16th Conference of the Science Council of Asia 2016年5月30日
学会発表	ネパール地震後の感染症流行予防のための避難地モニタリングツールの開発 Kanbara Sakiko, Joshi Archana, Hirono Sachiko, Miyagawa Shoko, Pokharel Tara, Pandey Apsara, Sharma Chandrakara, and Nojima Sayumi 第21回日本集団災害医学会総会・学術集会 2016年2月29日
国際セミナー	「これからのネパールに必要な地域へのケアを考える～復興支援と持続可能な地域社会の間でできること～」企画者：神原咲子講師：Pokharel Tara, Pandey Apsara, Sharma Chandrakara, 東京医科歯科大学, 2016年2月13日
学会発表	Sakiko KANBARA, Archana JOSHI, Tara POKHAREL, Chandrakara SHARMA, Apsara PANDEY, Shoko MIYAGAWA, Roger NGATU, Hyonju LEE, Sayumi NOJIMA, Monitoring for ensured communicable disease control on evacuation site by local nurses (EpiNurse) in Nepal, UNISDR Science and Technology Conference on the Implementation of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030 2016/1/26-27